Momo's Journey In Japan Vol.2 (Jp)



(邦題『モモ旅 Vol.2』)

Written by Momo

Translated by Tanya

Cover design by Tanya

Maps copyright © 2018 Increment P Corporation

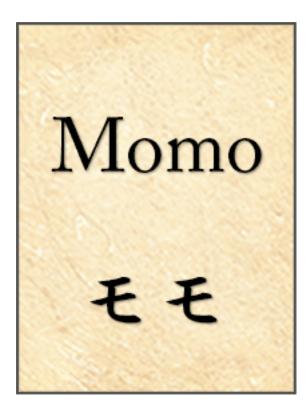
Copyright © 2018 Momo / The BBB: Breakthrough Bandwagon Books

All rights reserved.

ISBN: 978-1-387-70433-0



The BBB ウェブサイト(日本語版) http://thebbb.net/jp/



モモ著者ページ http://thebbb.net/jp/cast/momo.html

1. 古都京都の文化財 Part 1



ある日、モモは、新幹線で京都を訪れました。

新幹線を降りると、すぐにシナモンの甘い匂いが感じられます。

「わあ! 八ツ橋の匂いね!」

前に京都を訪れた時に、モモは八ツ橋の美味しさにハマったのです。

ところで、ターニャさんによると、京都の世界遺産は、ぜんぶで17件あるようです。

まず、金閣寺として知られる鹿苑寺 (ろくおんじ) を、モモは訪れました。

「あれが金閣寺? すごい! ピカピカ!」

モモは感動して、その光り輝く建物へ駆け出しました。



応売・イ金閣寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒603-8361 京都府京都市北区金閣寺町 1 鹿苑寺 事務局 【TEL】075-461-0013(代表)/9:00~17:00





モモは、銀閣寺として知られる慈照寺(じしょうじ)に、やってきました。

「銀」閣寺という名前は有名ですが、実際には、この建物は銀色に塗られているわけではないようです。

昨夜は大雪だったので、両脇を背の高い生垣に挟まれた小道を歩きながら、モモは、ちょっと 震えていました。

「本当は銀色のお寺を見てみたかったんだけど……」

小道を抜けると、彼女の視界が劇的に開けました。

「わあ! とつつつても綺麗! まさに、『銀』閣寺ね!」

雪に覆われたその寺院は、陽射しにまぶしく照らされて、白銀の世界となっていたのです。



京芸芸/銀閣寺 (古都京都の文化財)

【Address】 〒606-8402

京都府京都市左京区銀閣寺町2

慈照寺 事務局

【TEL】075-771-5725 (代表)/夏季8:30~17:00、冬季9:00~16:30

[FAX] 075-771-5439





モモは、京都にふたつある巨大な本願寺のひとつ、西本願寺を訪れています。

敷地の南東角にある「飛雲閣(ひうんかく)」という建物を見ることが、今日のモモの目的です。

この建物は、金閣寺と銀閣寺と合わせて、「京の三閣」とされているようなのです。

「わあっ! これが飛雲閣?」

静かな池に囲まれたその立派な建物は、とても堂々としていて、感動しました。

ターニャさんによると、「飛雲」は「雲の上を飛ぶ」という意味で、「閣」は2階以上の建物 を示す言葉のようです。

モモは、自分が建物を操縦して、飛行機のように、空を飛んでいく場面を想像しました。



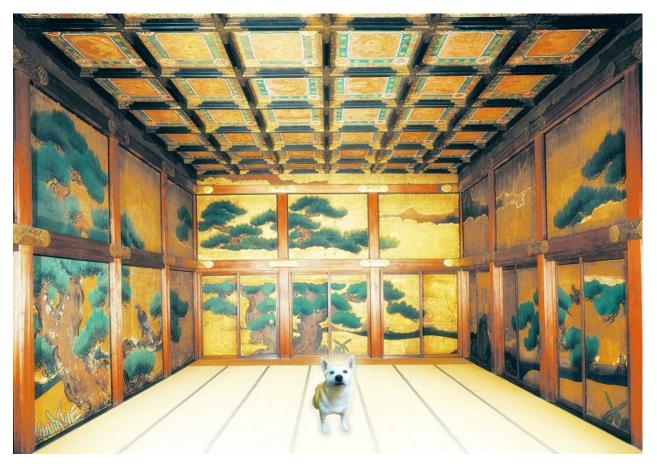
章 龍谷山 本願寺/西本願寺(古都京都の文化財)

【Address】〒600-8501 京都府京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)

【TEL】075-371-5181(代表)/5:30~17:00

【FAX】075-371-5241





ある日、モモは、二条城を訪れていました。

ここは、長い白壁と、お堀に囲まれた場所です。

砂利道を歩くと、おもしろい音がするので、楽しいです。

とても歴史のある、堂々とした建物がいくつもあり、迷路のように巨大なので、モモは道に迷って、ある部屋に入り込みました。

「わあっ! なんて綺麗な部屋なの!」

とても魅力的なので、モモは時間を忘れてしまいそうです。

すると、観光客のひとりがモモを見つけて、彼女を指差しました。

「あら、ねえ、見て! カワイイ柴犬よ! でも、飼い主さんは、どこ?」

期せずして、モモは、たくさんの注目を集めてしまいました。



二条城 (古都京都の文化財)

【Address】〒604-8301

京都府京都市中京区二条通堀川西入二条城町541 京都市 文化市民局 元離宮二条城 事務所

【TEL】075-841-0096(代表)/8:45~17:00

[FAX] 075-802-6181





ある日、モモは、京都府宇治市の平等院を訪れていました。

もう陽が暮れた後でしたが、境内に入ることができました。

『鳳凰堂』という名前のメインの建物が、ライトアップされています。

その立派な姿が、建物正面の湖に反射しています。

「とつつつても綺麗! わたし、この建物、知ってる!」

モモは、持っていた比較的新しい10円硬貨を取り出しました。

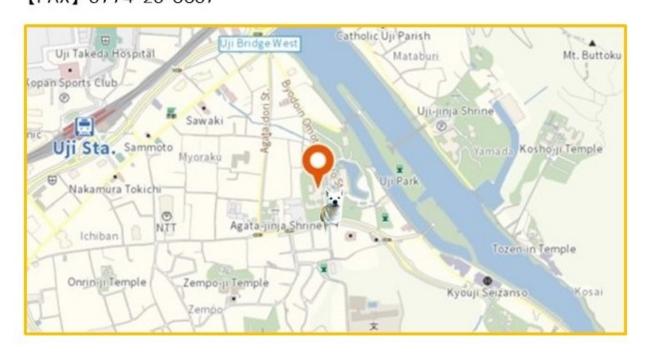
その硬貨の表面には、彼女の目の前の建物が刻まれています。

硬貨も光を反射しているので、モモの小さな肉球の上に載った 10 円玉も、目の前の本物同様に 輝いていました。



平等院 (古都京都の文化財)

【Address】〒611-0021 京都府宇治市宇治蓮華116 【TEL】0774-21-2861(代表)/8:30~17:30 【FAX】0774-20-6607





平等院を訪れた翌日、モモは宇治川沿いを散歩していました。

観光客が行ったり来たりする中、絵描きさんや写真家さんたちが、周辺の美しい景色を題材に しているらしい彼らの仕事に集中しています。

モモは、芸術家肌の女性に話しかけられました。

「あら、かわいいワンちゃん! わたしの木版画のモデルになってくれる?」

彼女は木版画家さんのようで、ラフ画を描いている最中のようです。

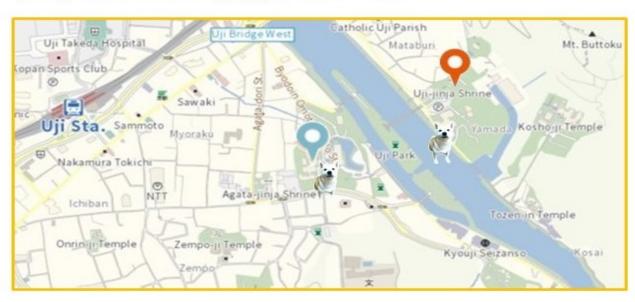
その作品に、モモを加えてくれる、とのことです。

一わあ! 素敵!



字治上神社 (古都京都の文化財)

【Address】〒611-0021 京都府宇治市宇治山田59 【TEL】0774-21-4634(代表)/9:00~16:30



2. 古都京都の文化財 Part 2



ある日、モモは、京都の桜の名所として有名な、とても人気のある醍醐寺を訪れていました。 桜の色、ピンク色に景色が染まっています。

日本語で、ピンクは「モモ」と言われます。

だから、モモは、彼女と同じ名前のその色が大好きです。

「とっても綺麗で幻想的! モモ色のお花がこんなに素敵なんて、幸せ」

そのピンク色の楽園の中で、モモは雲の上にいるような心地でした。

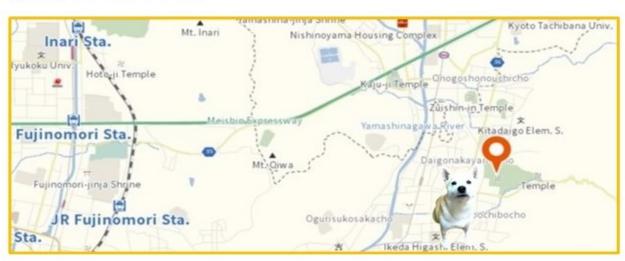


醍醐寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒601-1325 京都府京都市伏見区醍醐東大路町22 総本山 醍醐寺

【TEL】075-571-0002(代表)/9:00~17:00

【FAX】075-571-0101





ある日、モモは、京都北西の山深いところにある高山寺(こうざんじ)を訪れていました。 この寺院は、最古の漫画とされる、とても有名な「鳥獣人物戯画」を所蔵していることで有名 なようです。

モモは、以前、ターニャさんが見せてくれた戯画のひとつを思い出しました。

その画の中では多くの動物が楽しそうに遊んでいて、モモは、そこに加わりたくなりました。 「この戯画の中で、彼らと遊べたら良いのに……」

それは、素敵な夢のように、とても魅力的な思いつきでした。



高山寺 (古都京都の文化財)

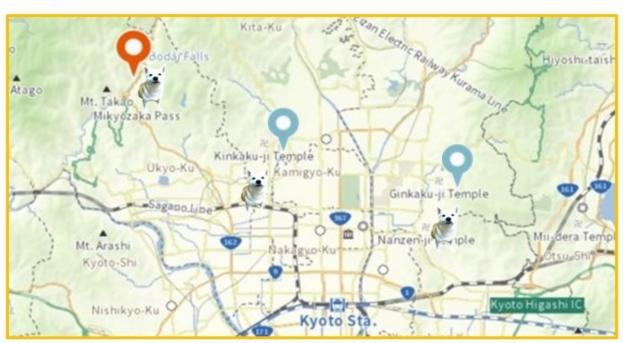
【Address】 〒616-8295

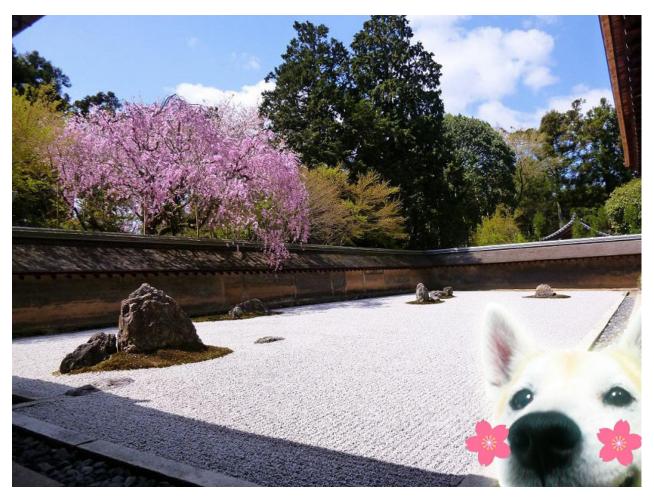
京都府京都市右京区梅ヶ畑栂尾町8

栂尾山 髙山寺

【TEL】075-861-4204(代表)/8:30~17:00

[FAX] 075-865-1848





ある日、モモは3年ぶりに龍安寺を訪れていました。

前の訪問の時、モモは、その美しい庭に侵入して、お坊さんに叱られたのです。

「あの庭に足跡を残しちゃダメだってコト、わたし、ちゃんと知ってるんだから」そこに着いた時、モモは庭のそばの桜の木が満開なのに気づきました。

「わあっ! モモ色のお花、大好き!」

モモは、興奮して、気がつくと、その木のほうへ走り出していました。

「しまった! うっかり……。ごめんなさい……」

不注意にも、モモは美しい庭園の砂利を乱してしまいました。

ふり返ると、あのお坊さんが歩いてきます。

一また怒られちゃう……



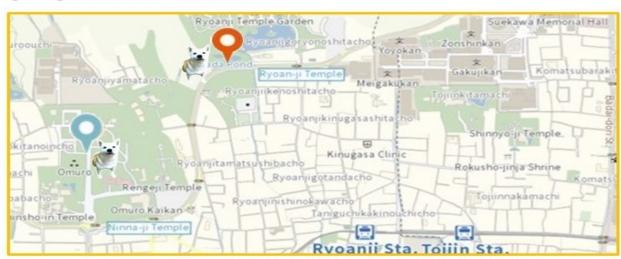
・ 龍安寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒616-8001 京都府京都市右京区龍安寺御陵下町13 大雲山 龍安寺

【TEL】075-463-2216 (代表)

3月~11月 9:00~17:00/12月~2月 9:00~16:30

【FAX】075-463-2218





ある日、モモは京都西部の仁和寺(にんなじ)を訪れていました。

御室桜(おむろざくら)と呼ばれるこの寺院の桜は、京都のほかの場所より遅くに満開となるようなのです。

敷地に入ると、美しいモモ色のお花の並びに、モモは迎えられました。

比較的背は低い木々ですが、誇らしげに、優雅に立っています。

「わたしたち、どちらも小さいから、わたし、このお花が大好き!」 モモは自然と満面の笑みになったのでした。



♀ <u>仁和寺/御室御所</u> (古都京都の文化財)

【Address】 〒616-8092

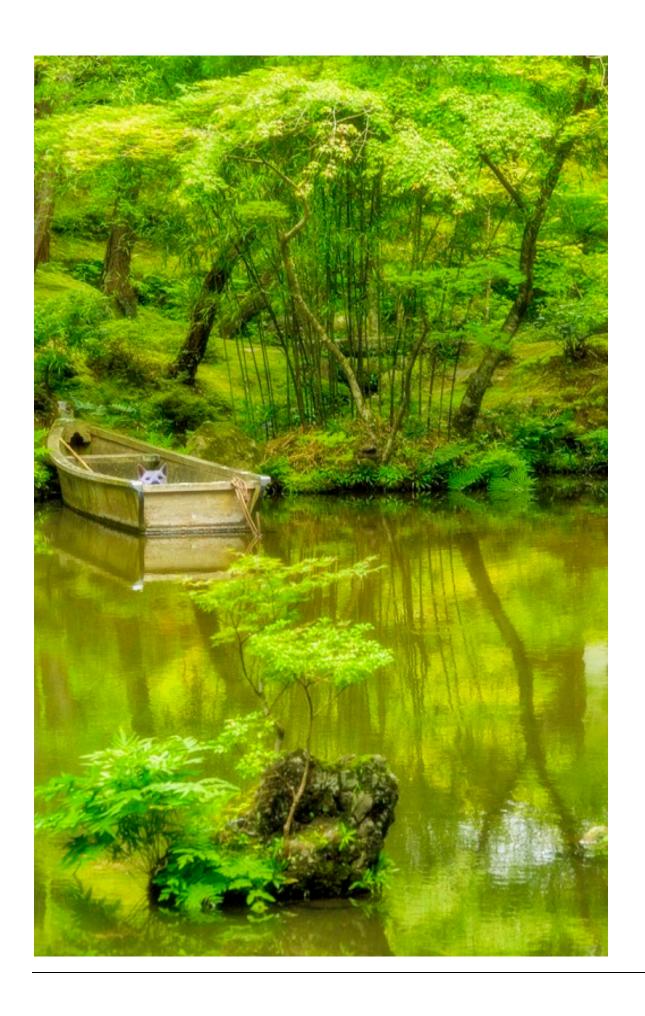
京都府京都市右京区御室大内33

【TEL】075-461-1155(代表)

3月~11月 9:00~17:00/12月~2月 9:00~16:30

[FAX] 075-464-4070





ある日、モモは、京都西部にある西芳寺を訪れていました。

このお寺に入るにはハガキによる事前予約が必要なので、モモは、ターニャさんにお願いして、ハガキを送っておいてもらったのです。

境内に通されると、視界いっぱいに、綺麗なモスグリーンが広がりました。

新鮮な匂いを感じ取って、モモは地面に鼻を近づけます。

「これって、苔よね? わたし、この匂い、大好き!」

あとで聞いたところによると、このお寺は「苔寺」という名前でも知られているようです。

この素敵な庭園がとても広いので、モモは、かくれんぼをしたい衝動にかられました。

一最初は、どこに隠れよう?





西苔寺/苔寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒615-8286

京都府京都市西京区松尾神ケ谷町56

【TEL】075-691-3325(代表)

7月~9月 10:00~/10月~6月 11:00~

[FAX] 075-662-0250

【備考】拝観には希望日の2カ月前より往復はがきでの要事前申込。





ある日、モモは、京都のとても有名な観光名所・嵐山の中心エリアにある天龍寺を訪れていま した。

とても便利なことに、嵐山でいちばん有名なランドマークの渡月橋(とげつきょう)とは目と 鼻の先です。

「天龍」という名前は、「お空にいるドラゴンさんたち」という意味のようです。

ドラゴンさんたちがお空を飛ぶ様子を想像しながら、モモは敷地内の建物のひとつに入りました。

すると、とっても巨大な、恐ろしい顔が、モモをにらみつけています。

「きゃー、怖いっ! この人、だれなの?」

最初は恐ろしかったのですが、それがただの絵であることに、モモは、すぐ気がつきました。 ひとりのお坊さんがモモのほうへ歩いてきて、言いました。

「この人は、達磨大師(だるまだいし)さん。禅の教えを始めた、すごいお坊さんだよ」 説明を聴きながら、モモは、その絵を注意深く見つめました。

ーダルマさん、なにを見てるんですか?

もしかしたら、お空を飛ぶドラゴンさんたちかもしれない、と、モモは思いました。



天龍寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒616-8385

京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町68

臨済宗 天龍寺派 宗務本院

【TEL】075-881-1235(代表)/8:30~17:30

[FAX] 075-864-2424



3. 古都京都の文化財 Part 3



ある日、モモは、京都と滋賀の県境にある比叡山の延暦寺(えんりゃくじ)を訪れていました。 とても高い山なので、頂上に着く前に、あたりは暗くなり始めました。

いざ到着すると、たくさんのロウソクが、その寺院を幻想的に照らしています。

「わあっ! なんて幻想的な景色!」

山奥深くに、このような素晴らしい施設があることに、モモは感動しました。 夜の闇を照らす灯火が優しく感じられて、不思議でした。



Q

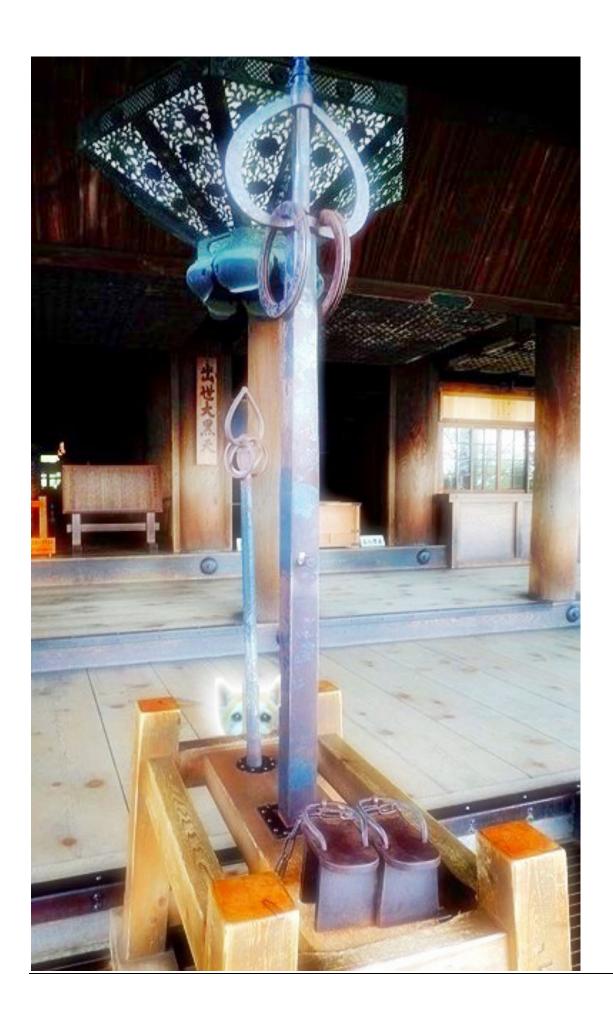
延暦寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒520-0116 滋賀県大津市坂本本町4220 比叡山 延暦寺 総務部

【TEL】077-578-0001(代表)/9:00~16:00

[FAX] 077-578-0678





ある日、モモは、京都の観光名所の中で、もっとも有名で、もっとも人気のある場所のひとつ、 清水寺を訪れていました。

お寺の名前「キョミズ」は、「清らかな水」という意味だそうです。

綺麗なお水を味わうのを楽しみにしていたのですが、「清水の舞台」と呼ばれる場所は、とて も高いところにあって、モモは、からだが震えるのを止められませんでした。

「高くて怖い! でも……、この景色、信じられないくらい素敵!」

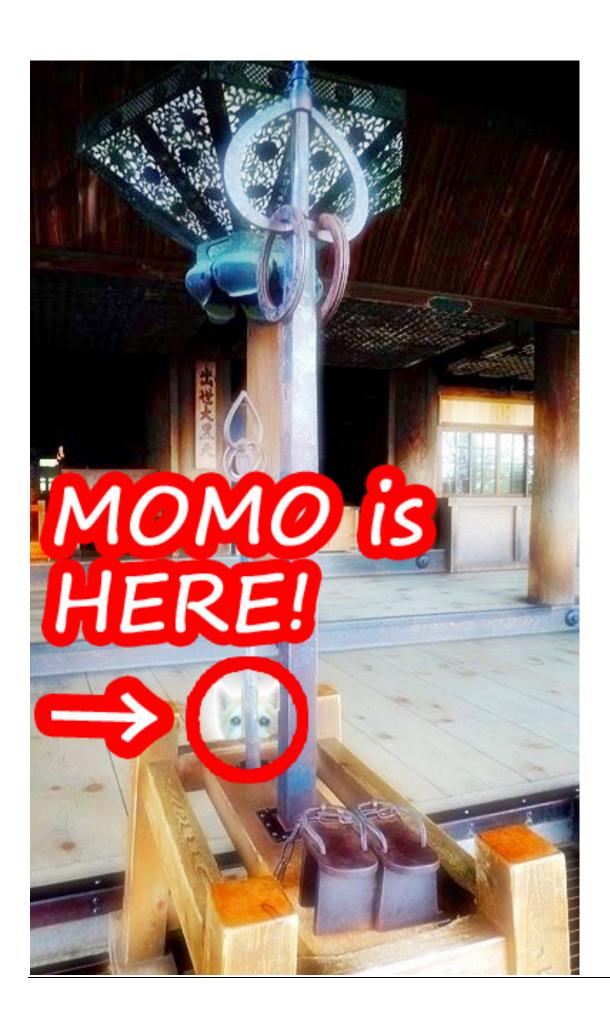
京都市のパノラマを観察していると、モモは、お坊さんに話しかけられました。

「やあ、かわいい柴犬ちゃん。こっちに来て、力試しをしてみないかい?」

そこには、輪っかのついた杖が2本(長いものと短いもの)と下駄があり、すべて鉄でできているようでした。

お坊さんによると、それを持ち上げてみることで、力試しできるそうです。

「うーーん……。わたしには、ちょっと重すぎるかな?」



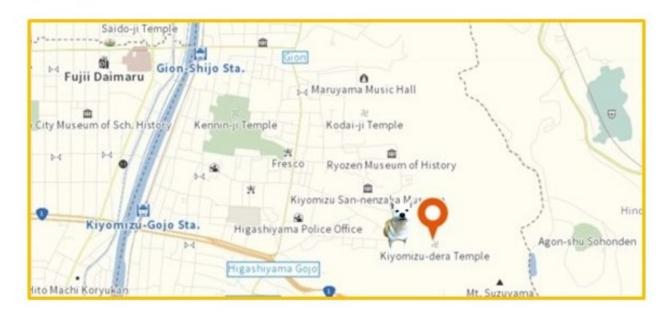


清水寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒605-0862 京都府京都市東山区清水一丁目294 音羽山 清水寺

【TEL】075-551-1234(代表)/6:00~18:00

【FAX】075-551-1287





ある日、モモは、京都駅の近くにある東寺を訪れていました。

その五重塔は京都駅からハッキリ見えるので、実は、以前から興味を持っていたのです。 ターニャさんの勧めで、陽が暮れてから訪れてみました。

夕暮れの中で到着した時、思わず息を飲む神々しい景色に、モモは驚かされました。

「わあ! 黄金のタワーみたい!」

まぶしく照らされるその塔の明るさに、モモは、すっかり魅了されてしまいます。

「天国にいるみたい! 本当に素敵!」

モモは、その黄金のはしごを自分が天国まで駆け上がるところを想像しました。



教王護国寺/東寺 (古都京都の文化財)

【Address】〒601-8473

京都府京都市南区九条町1番地

【TEL】075-691-3325(代表)/5:00~17:00

【FAX】075-662-0250





ある日、モモは、京都某所で、みたらし団子を美味しくいただいていました。

「うーん……ほんと、マンプク。ダイエットのために、ちょっと歩かなくちゃ」

おなかいっぱいで、ぼーっとしていたせいか、モモは、原始的な林の奥深くまで迷い込んでしまいました。

「あら……どうしよう。どっちに進めばいいの?」

その時、どこかで、だれかの声が「モモ! こっちだよ!」と何度か言うのが聞こえました。 指図される通りに歩いて、モモは、ついに下鴨神社に辿り着きました。

一だれの声だったのかしら?

空を見上げて、モモは、3本足の不思議な鳥さんが飛び立つのを目撃しました。



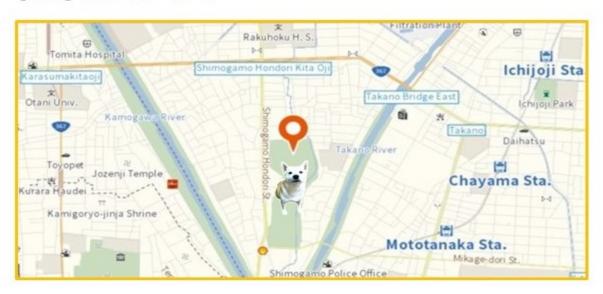
賀茂御祖神社/下鴨神社(古都京都の文化財)

【Address】〒606-0807

京都府京都市左京区下鴨泉川町59

【TEL】075-781-0010(代表)/9:00~18:00

[FAX] 075-662-4722





ある日、モモは、京都市北部の上賀茂神社を訪れていました。

美しい白の、幅広の砂利道が、神社までまっすぐに延びています。

それを通り抜けると、敷地内に、ふたつの円錐形の砂山を見つけました。

「わあっ! あれ、なあに? あそこに飛び込んでみたい!」

ですが、その時、どこからともなく白いお馬さんが現れて、モモを止めました。

「おっと、ワンちゃん。あれに飛び込んじゃダメだよ。立砂は聖なる砂山なんだから。その代わり、あそこにある、茅(かや)でつくった神聖な茅の輪(ちのわ)を、くぐってごらん」

「へえ、おもしろそう! どうすればいいの?」

「8の字を描くように、合計4回、くぐるんだよ。やってみたら?」

謎のお馬さんに勧められるままに、モモは茅の輪まで歩き、それを心配そうに見上げました。

「うーん……どうすれば、8の字を描けるのかな?」

モモの頭の中で思考が複雑に絡み合って、目がグルグル、頭もグルグル……。

「モモちゃん、大丈夫?」

モモは思わず、地べたに座り込んでしまいました。



(古都京都の文化財)

【Address】〒603-8047 京都府京都市北区上賀茂本山339 【TEL】075-781-0011(代表)/5:00~17:00

[FAX] 075-702-6618



4. 白川郷・五箇山の合掌造り集落



京都での旅を終えたモモは、岐阜県の白川郷に、やって来ました。 数年前にここへ来た時には大雪だったことを、よくおぼえています。 雪のため、前回は残念ながら、この村をよく見て周れなかったのです。 でも、今回は、とても好いお天気に恵まれました。

「わあっ! かわいいおウチばかり! 綺麗な絵みたいだわ」 田んぼや木々の緑がとても生き生きとしていて、モモを魅了します。 モモは、何度も深呼吸をしました。

新鮮な空気が、彼女に、たくさんのエナジーをくれるように感じられます。 モモは上きげんで、スキップして村を周り始めたのでした。

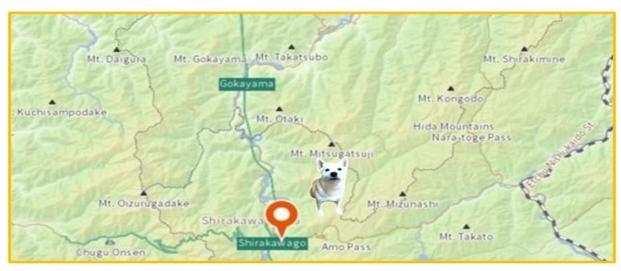


荻町集落 (白川郷・五箇山の合掌造り集落)

【Address】〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町1086 白川郷バスターミナル内 一般社団法人 白川郷観光協会

【TEL】05769-6-1013 (代表)/9:00~17:00

[FAX] 05769-6-1716





菅沼集落を訪れるために、モモは岐阜県から富山県へ移動しました。

この集落も、世界遺産・白川郷の一部なのだそうです。

家は九棟だけですが、視界には美しい田んぼが広がっています。

陽が暮れたあと、家々はライトアップされて、ファンタジー小説のようです。

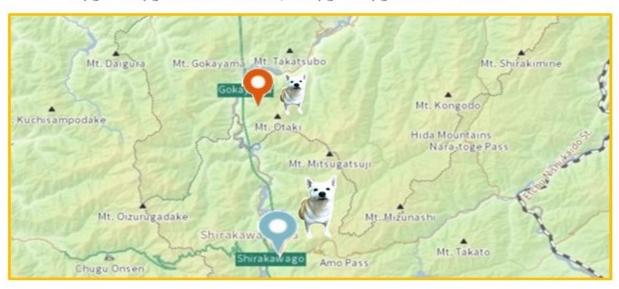
「まるで魔法の国に来たみたい」

モモが想像した架空のお話のタイトルは、『不思議の国のモモ』一でした。



菅沼集落 (白川郷・五箇山の合掌造り集落)

【Address】〒636-0155 富山県南砺市菅沼578 菅沼世界遺産保存組合 【TEL】0763-67-3008 (代表) 4月~11月 8:00~17:00、12月~3月 9:00~16:00





ある日、モモは、富山県南砺市(なんとし)の相倉(あいのくら)集落を訪れていました。 菅沼集落から相倉集落までは、車で15分くらいです。

どちらの集落も、世界遺産・白川郷に含まれているのだそうです。

ここには23棟の家々があり、どれも、かわいらしいです。

「やあ、かわいいワンちゃん。ちょっとウチに寄ってくかい?」

親切な村人さんたちが、彼らのおウチにモモを招待してくれました。

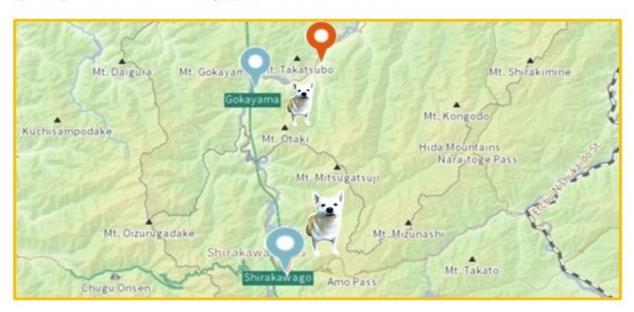
囲炉裏があるせいで、家の中は、とても暖かくて快適です。

気持ちが良くなってきて、モモは、座布団の上で居眠りしてしまいました。



中国主義 (白川郷・五箇山の合掌造り集落)

【Address】〒939-1915 富山県南砺市相倉611 世界遺産相倉合掌造り集落保存財団 【TEL】0763-66-2123 (代表) /8:30~17:00



5. 厳島神社



富山県の相倉集落を去ったあと、モモは電車を乗り継いで、3年ぶりに広島県にやって来ました。

前回の訪問では、お友だちになった鹿さんと写真を撮ったことを、おぼえています。 引き潮の時だったので、巨大な鳥居まで、モモは干潟を歩けました。

「鹿さん! どこにいるのかな?」

あたりを見回すと、ひとりの観光客が、モモの肩を叩きました。

モモが示された方角を見ると、鹿さんが、こちらへ走って来るところでした。

「モモちゃん、お久しぶり!」





厳島神社の木の廊下を歩きながら、モモは夕陽の強い陽射しに照らされました。

気がつくと、モモの影は、巨大の犬のそれのように、信じられないほど長くなっています。

「わあっ! 水の表面が金色に輝いてる。天国みたい!」

建物は、広島湾の巨大な真紅の鳥居に面しています。

午後の陽射しのオレンジの光の中で、鳥居は堂々とした雄姿で聳えています。

絵のような風景に魅了されているうちに、目が痛くなってしまいました。

サングラスを持ってくれば良かった、と、モモは思いました。





鹿さんにオススメされて、モモは、弥山(みせん)の頂上にある展望台に行くために宮島ロープウェイに乗りました。

ロープウェイは、予想していたより速いスピードで空中に上昇していきます。

モモは、高所恐怖症なので、からだの震えを止められませんでした。

でも、彼女のとなりにいた年配の女性が、彼女の頭を撫で、背中を叩いてくれました。

「かわいいワンちゃん。外を見てみたら?」

怖かったですが、モモは、顔を窓ガラスに近づけました。

「わあっ! 絵のような景色! あの厳島神社が、とっても小さく見える!」 広島湾の美しい景色が、水平線まで広がっていました。





ある日、モモは、広島の地御前神社に、やって来ました。

地元の人たちが、その神社が厳島神社の外宮だと教えてくれたのです。

地御前神社は2本の線路に挟まれていて、舗装された道路が、主殿と鳥居のあいだを走っています。

それって、とても珍しい配置なのでは? と、モモは思いました。

「あ、ねえ!こんにちは、狛犬さん!」

狛犬さんの石像に話しかけていた時、モモは、踏切が鳴る音を聞きました。

狛犬さんが見ている方角を、電車が走り抜けていきます。

モモも、狛犬さんと同じ姿勢になって、それを見つめました。

なんだか、狛犬さんの相棒になれたようで、嬉しい気持ちになりました。





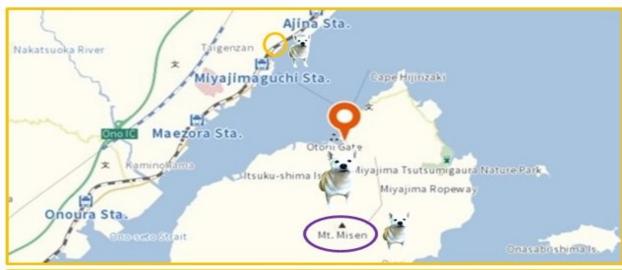
ある日、モモは、厳島神社の近所を歩き回っていました。 神社の近くの坂を下っていると、石壁と門がありました。 通りがかった人の話では、それは、江戸時代に建てられた林家住宅だそうです。 林家さんは、厳島神社の神主さんの家系なのだそうです。

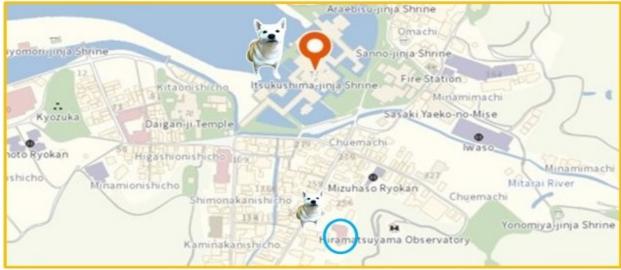
「自分のおウチが世界遺産だなんて……素敵!」 モモのおウチが世界遺産になるのには、何世紀かかるのでしょうか。



嚴島神社 (厳島神社)

【Address】〒739-0588 広島県廿日市市宮島町1-1 【TEL】0829-44-2020(代表)/9:00~16:00 【FAX】0829-44-0517





- 〇 弥山
- 0 地御前神社
- O 林家住宅

6. 原爆ドーム



今日が特別な日であることを、モモは知っています。

だから、彼女は、路面電車で、広島市の中心エリアに、やって来ました。

彼女の目的は、原爆ドームを訪れることです。

1945年8月6日以降、この建物は原爆の悲劇の象徴であり続けてきました。

もうひとつの原爆がターニャさんの故郷である長崎に落とされたのは、1945 年 8 月 9 日です。 世界平和への祈りを込めて、モモは肉球をそっと合わせました。

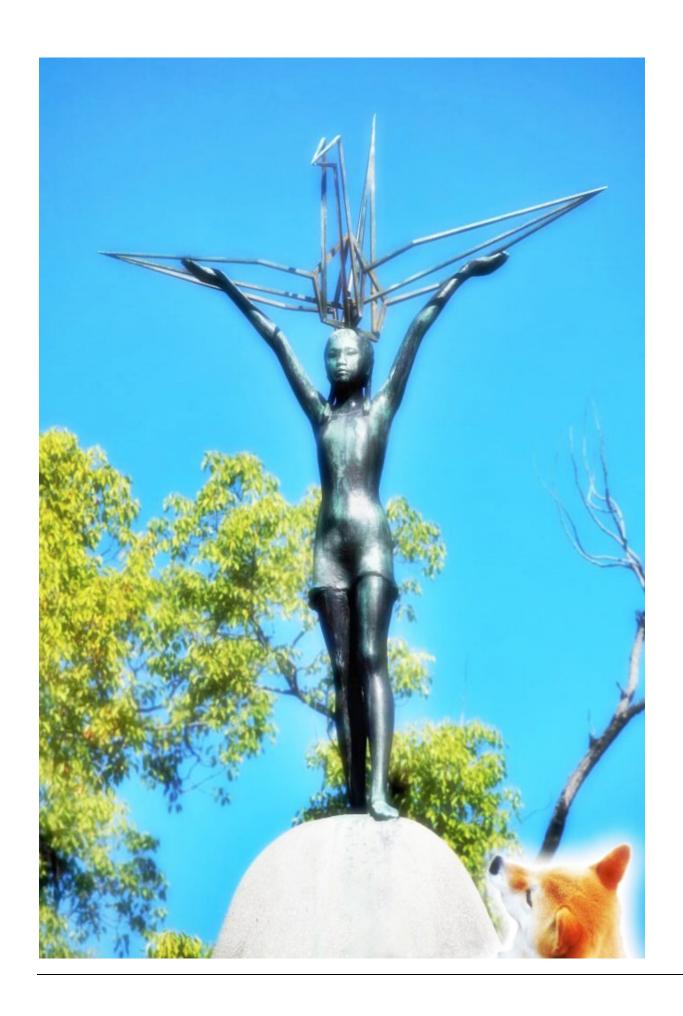




原爆ドームで世界平和を祈ったあと、モモは、広島平和記念公園へ移動しました。 公園のあちこちに、色とりどりの折り鶴が飾られています。 折り鶴のつくり方は、以前、ターニャさんに教わりました。 モモはピンクの折り紙を用意して、それを折り始めました。 「近いうちに、世界平和が実現しますように……」

祈りを込めて、モモは、折ったばかりの鶴を、そこに並べました。





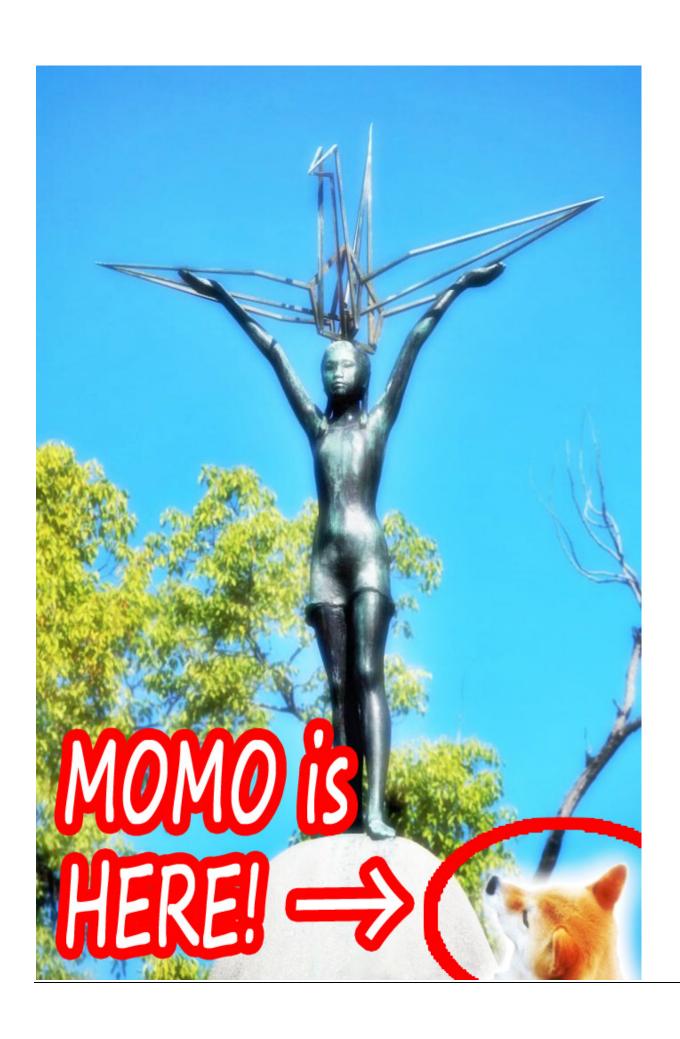
折り鶴を並べた時、モモは、印象的な銅像が静かに佇んでいるのに気づきました。 近づくと、ボランティア・ガイドらしき年配の女性から話しかけられました。

「かわいいワンちゃん、知ってる? これは『原爆の子の像』よ」

それは、原爆の影響による白血病のため、12歳で亡くなった佐々木禎子(ささき・さだこ)さんの像なのだそうです。

病気と闘いながら、禎子さんは折り鶴をつくりながら快復を祈っていたそうです。

モモは、ピンクの折り紙をもう1枚とり、今度は禎子さんのために折り鶴をつくり始めました。





禎子さんの像に心を揺さぶられたモモは、 原爆ドームの近くまで歩み寄りました。 この建物は原爆であまりにも破壊されたので、最初は取り壊される予定だったそうです。 でも、たくさんの人が、世界平和を祈るためのモニュメントとして遺すべきだと主張しました。 そして、1966年に、永遠に保存することが決められました。

世界遺産に登録されたのは、その30年後。時を経て、多くの国からやって来た人たちが、真剣な表情で、この建物を見上げています。

世界平和への人々の真摯な祈りに、モモはまた心を揺さぶられました。





<u>原爆ドーム</u> (広島平和祈念碑)

【Address】〒730-0051 広島県広島市中区大手町1-10

【TEL】082-247-6738 (広島市観光案内所)

【FAX】082-247-6917 (広島市観光案内所)



- の原爆の子の像
- 広島平和記念資料館

(モモの次なる冒険に続く)

本書は The BBB: Breakthrough Bandwagon Books のためにつくられたオリジナル作品です。

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記~日本編~

http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-in-japan.html



モモの世界遺産旅行記~世界編 Vol. 001-025~

http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe01.html

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記~世界編 Vol. 026-050~

http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe02.html



モモの世界遺産旅行記~世界編 Vol. 051-075~

http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe03.html

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記~世界編 Vol. 076-101~

http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe04.html



モモ旅 Vol.1

http://thebbb.net/jp/ebooks/momos-journey-in-japan-vol1.html